

ふるさと歴史散歩

〔第163回〕松崎八幡宮址

その五



厳島神社摂社客神社と五重塔（広島県教育委員会事務局文化財課提供）

我が国に、9世紀中ごろの平安時代に書かれた「日本三代実録」という歴史書がある。今から1150年前の地方の古代史の解明には欠かせない史料だ。三代実録巻二貞観元年（859年）春正月の記事によれば、安藝國の三神社はそれぞれ、正五位下伊都岐島神、從五位上速谷神、從五位下多家神に叙せられている。また同じ平安時代中期の「延喜式」神名帳に記された式内社は、安藝國に名神大社が三座あり、佐伯郡に伊都岐島（厳島）神社、速谷神社の二座、安藝郡に多家神社の一座がある。この頃には地方の神々にも位階に叙してランクづけを行い、伊都岐島神社が安藝國第一の宮、即ち、一宮として安芸一國だけでなく広く崇敬を集め、神の島・宮島も門前町・港湾都市として殷賑を極めて他の例を見ない唯一独特の海に浮かぶ本殿の形式と規模となった。そして速谷神社は二宮、多家神社は三宮に位置づけられた。ところが10世紀以降から前二社はともかく、多家神社のみ名前と所在地が、諸々の記録から消えており、その行方が杳として知れなくなった。

それが江戸時代後期になって国学が復興して古代史に注目されるようになった。学問や思想は、その時代の特色を色濃く反映するケースが良くあるが、江戸時代の学問は、儒学・国学・洋学の3分野に大別されよう。儒学は古代中国の孔子によって体系づけられた学問で、孔子の説く「道」（道徳や人としての道）が身分制社会の政治理念に取り入れられ、武士が身に着ける学問とされ、諸藩の藩校では儒学の中でも朱子学が教授された。国学は、「万葉集」「古事記」などの古典文学や歴史書を研究してその固有性・独自性を探る学問である。特に、江戸後期に本居宣長の「古事記伝」の研究で、神倭伊波礼毗古命（神武天皇）が日向を出発して安芸國・吉備國を経由して大和の地にて即位した東征神話が当時、神武天皇は実在の天皇と考えられていたため東征は実話とされた。そこで神武天皇駐留の地が一体何処であるのか問題となった。

「古事記」では、神武天皇は阿岐國の多都理宮に7年駐留とあり、「日本書紀」には、安藝國の埃宮に70日駐留したとある。両書で社名も駐留期間も違っている。

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭

消費生活相談

通信販売は慎重に

相談内容



夫へのプレゼントとしてブランド物の靴をインターネットで探していたら、定価の3割引で販売しているサイトがあったので注文した。受注メールが届き記載されていた個人名の銀行口座にお金を振り込んだ。しばらくたっても商品が届かず、メールで何回か問い合わせたが、まったく返信がない。（30代 女性）

アドバイス



商品が届いていないこと、入金後に連絡が取れなくなったこと、また振込先口座名が個人名であることなどから、詐欺的サイトである可能性が高いことを説明しました。所在地宛てに「商品がいつ届くか」というはがき（書面）を出し、宛先不明で返送されたら、それを持って警察に詐欺の届出をするように伝えました。詐欺サ

消費生活相談員による相談窓口

町民生活課（役場4階）
☎286-3128
月～金曜日
午前9時～正午
午後1時～4時

- ◆インターネット通販の注意点
- ・正確な事業者の情報が記載されていますか？
- ・正規の価格より極端に値引きされていますか？
- ・ウェブサイトの日本語表記に不自然なところはありますか？
- ・銀行振り込み以外の決済手段がありますか？
- 不安を感じたら、消費生活相談窓口にご相談ください。

